

令和 4 年 11 月 14 日

多 賀 城 市 議 会 議 長

会派等名 無会派

代表者名 根本 朝栄



調 査 研 究 報 告 書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

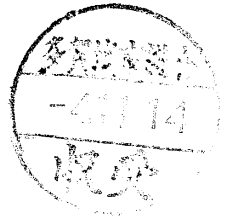
- (1) 根本 朝栄 (5)
- (2) (6)
- (3) (7)
- (4) (8)

2 調査研究の概要

- 調査期間： 令和 4 年 11 月 10 日（木）～令和 4 年 11 月 11 日（金）
- 視察目的： 近江八幡市、守山市の行政視察と大津市での自治振興セミナー講座受講
- 調査手法： 視察調査
- 行程又は日程： 添付行程表のとおり
- 視察先及び調査事項

調査日時	調 査 先	調査事項及び現地視察の有無
10 日（木） 10：00～11：00	滋賀県 近江八幡市議会	① スケートパーク（健康ふれあい公園）整備
10 日（木） 13：00～17：30	滋賀県 大津市 県立芸術劇場）	① 自治振興セミナー研修（4本の講演）
11 日（金） 10：00～11：00	滋賀県 守山市議会	① 中心市街地活性化の取り組み

- 調査資料： 添付調査先作成資料のとおり



宮城県多賀城市議会 会派行政視察等 行程表

＜研修、調査研究、要請・陳情 用＞

会派名「無会派（根本朝栄）」

■日 程：令和 4 年 11 月 9 日（水）～ 11 月 11 日（金）

日 程	行 程
<p><1日目></p> <p>11月9日(水)</p> <p>(移動日)</p>	<p>(公務終了後)</p> <p>東京発(新幹線) 16:00→名古屋発 17:43→18:10 着米原発 18:17→近江八幡駅着 18:36→徒歩→ホテル着 18:40</p> <p>■宿泊：コンフォートイン近江八幡（滋賀県近江八幡市鷹飼町 514-1） TEL 0748-36-0001</p>
<p><2日目></p> <p>11月10日(木)</p>	<p>ホテル発 9:30→近江八幡市立健康ふれあい公園（10:00～11:00 視察）→近江八幡駅発 12:09→大津駅着 12:33→大津駅発(タクシー)→滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール着 12:50（滋賀県及び一般財団法人地方自治研究機構主催自治振興セミナー受講:13:00～17:30）びわ湖ホール発 17:30（タクシー）→大津駅発 18:02→京都駅着 18:12→（徒歩）→ホテル着 18:20</p> <p>■宿泊：ホテルエルシエント京都（京都府京都市南区東九条東山王町 13） TEL 075-672-1100</p> <p>■調査事項等：1 近江八幡市視察（スケートパーク（健康ふれあい公園）整備） 2 自治振興セミナー研修（4本の講演）</p>
<p><3日目></p> <p>11月11日(金)</p>	<p>ホテル発 8:45（徒歩）→京都駅発 8:56→守山駅着 9:23→（タクシー）→守山市役所（10:00～11:00 視察）→11:30 市内昼食→守山駅 13:18 発→京都駅着 13:43→京都駅発 15:10(リムジンバス)→伊丹空港着 16:10→伊丹空港発 17:00（飛行機）→仙台空港着 18:10→（自家用車）→多賀城着 19:00</p> <p>■調査事項等：守山市視察（中心市街地活性化の取り組みについて）</p>

3 調査の概要

(1) 近江八幡市のスケートパーク（健康ふれあい公園）整備について

令和5年度から、市立「健康ふれあい公園」の調整池を活用し、初心者から上級者までを対象とした専用の練習施設を整備する現地調査を行った。

近年のスケートボードの人気の高まりから、各地の駐車場や公園道路上において自由奔放に滑走し、公共施設等の階段や手すりなど破損事例が後を絶たないことから、スケートボードの禁止の看板設置など注意喚起をしてきたが、若者の居場所確保や、青少年の健全育成の観点を考慮し、場所の検討に入った。

全国の事例など参考に、健康ふれあい公園内の調整池が、立地面、管理面、コスト面から最適と判断された。指定管理者（アシックス・ビバ・ナショナルメンテナンス共同体）による管理体制と、登録申請書、契約書による利用ルールの取り決めなど、運用について5年度の開設へ向け検討している。

(2) 自治振興セミナー

滋賀県立芸術劇場にて、滋賀県及び一般財団法人地方自治研究機構の共催のセミナー研修。人口構造の変化デジタル化の進行コロナ感染症を踏まえた社会と行政の在り方住民のライフスタイルや価値観の多様化、公共私連携による地域社会の新たな動き、脱炭素・SDGs 実現に向けた取り組み、多様性の尊重など新しい課題に対応する取り組みが求められている。

こうした課題に、地方公共団体、職員、議員が日常から、高いアンテナを張り巡らせながら地域、国の社会情勢を把握して持続的な意思を持って、政策の形成と実効性の確保に絶えず学び深めていくためのセミナーである。

① 滋賀県知事の基調講演「みんなでつくろう！健康しが」 三日月大造氏

滋賀県の地方創生について、社会、経済、ひと、自然の健康に主眼を置いた取り組みの紹介をされ、今後DXの実現を目指していくとのことである。

② 未来を拓く「これからの新しい地域経営」

(株)日本共創プラットフォーム代表取締役社長 富山和彦氏

新陳代謝と流動性を前提とした包摂的な経済システムをどう構築していくか、デジタルを活用した新たな取り組みについての講演内容であった。

③ 未来を拓く「デジタル時代の住民自治」一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事 関治之氏

インクルーシブな取り組みとして「ともに考え、ともにつくる」ためのデジタルを活用し、誰でも参加出来るデジタルテクノロジーを通じた地域参加の展望と課題について講演があった。

④ 未来を拓く「持続可能な社会づくり」たねやグループ CEO 山本まさひと氏

自然に学ぶ街づくりのビジョンを掲げた取り組みについての講演。

(3) 守山市中心市街地活性化の取り組みについて

人口 85,590 人（12 年間で 1 万人増加、年間 700 人から 1,000 人の人口増）面積 55 km²、電車で京都まで 25 分、大阪まで 55 分、まちづくりの基本理念「のどかな田園都市」都市と田園地帯の調和した土地利用、良質な子育て・教育環境、充実した医療機関、落ち着いた地域、自然環境の町を目指すとのことであった。

1) 第 1 期中心市街地活性化計画（平成 21 年度～26 年度）

中心市街地活性化等の連携推進体制

基本理念：絆と活力ある「共生都市」の創造行政が半歩前を進み、民間がそれに続き、賑わいの小規模連鎖を生み出す。

文化を活かす取り組み：中心市街地交流プラザの整備小学校・幼稚園の合築、中心市街地交流駐車場の整備など。

- ① 水と緑を活かす取り組み：水辺遊歩道ネットワークの整備、あまが池親水緑地の整備
- ② 歴史を活かす取り組み：歴史文化まちづくり館の整備、中山道守山宿街並みの修景等まちづくり連絡会議月 1 回開催（守山市、商工会議所、株式会社みらいもりやま 21、文化体育振興事業団）情報共有と事業等の取り組み連携を図る。

2) 第 2 期中心市街地活性化計画（平成元年 27 年度～令和 2 年度）

基本理念：住み続けたいくなる“絆と活力ある共生都市”の創造、民間による賑わい創出と健康生活都市を支える中核ゾーンの構築。

- ① 民間事業者による賑わいの創出を推進：守山銀座商店街再開発、近江鉄道ビル建て替え、セルバ 1、2 階活性化、火まつり交流館など、民間事業による賑わい創出を積極的に支援する。
- ② 将来的な少子高齢社会化を見据え「健康・予防医学」に主眼を置いた新たなサービスの提供・充実：健やかまちづくり行動戦略の推進、健康意識の向上（健康フェスティバル）環境施設の整備にあわせた健康づくりの場の創出を図る。
将来的な少子高齢社会化を見据え、前計画区域の周辺に位置する教育文化・医療福祉拠点との連携：滋賀県立総合病院の充実、市民病院との連携による在宅中心の医療サービスの提供、図書館整備事業（起業・就労支援に関する情報発信、提供など多様な場）、本の森の創造を図る。

4 所感

(1) 近江八幡市のスケートパークについて

近江八幡市においては、先述のように若者の居場所確保という課題に加え、オリンピック効果にて全国的にスケボーのブームが拡散し、スケートパークを設置することが、青少年の健全育成に資すると考え「健康ふれあい公園」にスケートパークを設置することになったとのことであった。設置を考察するにあたり郊外での設置を探求していた時に、すでにコンクリート舗装がなされているうえ、外溝のフェンスも整備され面積的にも十分である「健康ふれあい公園の調整池」を有効活用することで、予算も低

く抑えることができることから最適な場所になったものである。

調整池の整備や設置型の器具備品等の購入もすることになっており、その財源は、ふるさと納税を活用して整備することになっている。また、使用するためのルールも検討されており、きめ細かく準備されている様子が伺えた。

スケートボード場の設置については、これまで私も一般質問して取り組んできた経緯があり、中学生を中心とした愛好会からもスケートボード場の設置を求める要望書が提出されている。また、複数の議員からも一般質問等で提案されていることから、多本市でも、先進事例などを参考にしながら、本市の調整池の活用も視野に入れ、若者の居場所づくりのために、実現に向けて取り組んでまいりたい。

(2) 自治振興セミナーについて

自治振興セミナーは、4人の講師の先生からご講演があった。最初に登壇したのは開会の挨拶も含め、地元滋賀県知事の三日月大造氏からの講演であった。滋賀県の面積や増加している人口の紹介並びに国民的資産である琵琶湖についての紹介があった。

また、ご自身の現場主義をモットーとしている政治信条等の紹介があり、国指定の重要文化財が国宝も含め827件もあり、全国4位との紹介があった。琵琶湖周辺の歴史については、戦国時代から有名な武将が数多くおり、天下を統一した織田信長や豊臣秀吉などの時の武将は、この界限で活躍したことは大変有名であり私も大好きな武将たちである。

時代こそ違いはあれ、本市には、724年に創建され東北一帯を統治した多賀城政庁があり、2024年には多賀城創建1300年を迎えることになっている。南門と築地塀の復元も2024年には完成の運びとなり、歴史を生かしたまちづくりがいよいよ本格化するところであり、滋賀県の歴史も参考にしながらまちづくりに取り組んでまいりたい。

次に、登壇したのは株式会社日本共創プラットフォーム代表取締役の富山和彦氏の講演であった。日本経済の復興の本丸は、ローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏が主流であり、GDPの7割、雇用の8割、そしてその比率は上昇を続けているとのことである。

これからは、DX活用などの新たな取り組みによる生産性向上、空中戦力も活用し人手不足や高賃金時代を逆手にとって、更なる成長目指していくが大事とのことであった。リクエスト型最適経路路線バス(ダイナミックルーティング)利用者のリクエスト(現在地、目的地)に応じて、AIが最適な経路とダイヤを算出するオンデマンドサービスの先進事例が本市でも大変参考になった。

本市においても、デジタル活用で今後の多様な価値観や、市民サービスの向上に結び付く取り組みを期待したい。

次に登壇したのは、一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事の関治之氏である。未来を拓く地方創生「デジタル時代の住民自治」と題しての講演であった。

(3) 守山市の「中心市街地活性化」の取り組みについて

守山市の中心市街地活性化事業は、第1期と第2期に分けて整備されている。平成24年7月に開設した「あまが池交流プラザ」では、コンサートや講演会、介護予防教室、空手教室など施設の特性を生かした様々な事業を行っており、令和4年3月までに利用者が45万人と大変好評を博し、幅広い利用がなされていた。

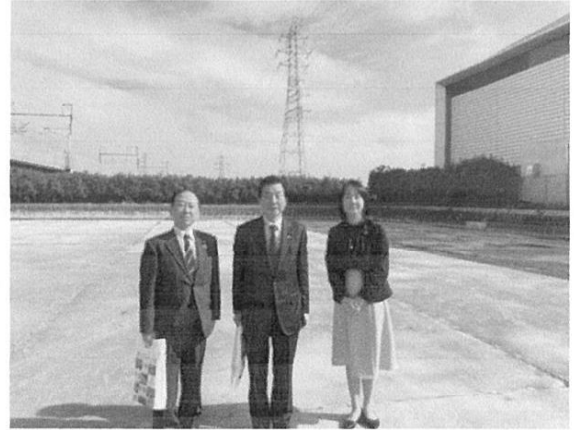
また、回遊性の向上を目的として、施設の案内表示板などを設置し、まちの構造を分かりやすく表示もしていた。さらに、歴史を活かす取り組みとして、中山道街並み整備を行うとともに、水と緑を活かす取り組みとして、水辺遊歩道ネットワークの整備も行っている。本市にとって、非常に参考になる賑わい創出の取り組みであった。

まちづくりの基本のポイントとして、①産業・歴史・文化を掘り起こし、地域を活用したまちづくり。②未来を担う子どもたちを地域が一体となって、愛着心を持つよう育む人づくりとなっており、本市にも相通ずる点がおおく、大いに参考になった。

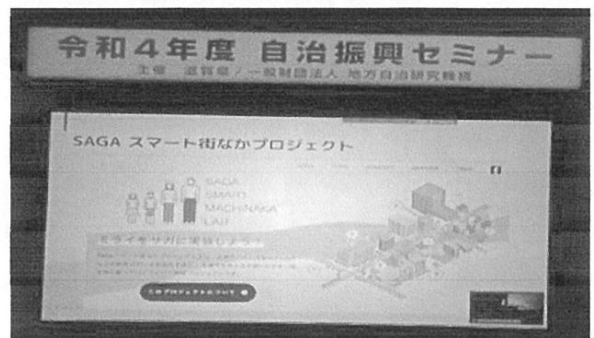
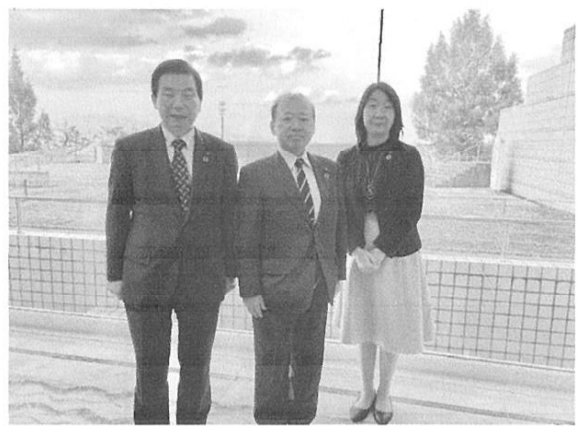
わが国では、少子化高齢化が進み人口が減少する中であって、守山市では、京都まで電車で25分と立地の良いことに加え、市を挙げてこのようなまちづくりを行うことにより、年間700人から1000人の人口増となっている。12年間で1万人もの人口が増加し、その取り組みの成果が表れていた。

本市においては、他市町村で人口が減少する中、子育て支援の充実を図るとともに、ミニ開発等の影響も重なり人口は減少しておらず、横ばいの状況となっている。特に、西部地区では若い子育て世帯が増加し、山王小学校では、令和4年度に引き続き、令和5年度にも教室の増設を行うことになっている。当局のこれらの取り組みを評価するとともに、今後とも人口減少対策に前向きに取り組むよう期待するものである。

近江八幡市視察



滋賀県自治振興セミナー



守山市視察

